質 疑•回 答 書

	(1/3)
件 名	水、 発注番号 23541
	発注主管課名 教育委員会総務課
質 疑	回答
1 設計図書の優先順位 ①質問回答書→②現場説明書→③特記 仕様書→④設計図→⑤参考内訳書→⑥標 準仕様書でよろしいでしょうか。	1 公共建築改修工事標準仕様書(建築 工事編)令和4年度版 1.1.1 一般事 項(4)優先順位に記載のとおりとし ます。
2 A-02.1.7 条件明示項目 仮設工事、外部足場組立、洗浄、外壁 調査、硝子シール打替(外部面)などは 学校及び監督員と協議の上、平日施工可 能と考えてよろしいでしょうか。	2 発注主管課、学校及び監督職員と協議し、認められた作業については平日作業可とします。
3 A-03.3.3 既存防水層の処理 A-11 仕上表 C 既存防水層の撤去は行わないとありま すが、仕上表では渡廊下屋上の防水層撤 去です。仕上表を正とし、防水層撤去で よろしいでしょうか。	3 お見込みのとおりです。
4 A-11 仕上表 防水改修 A 5) 伸縮目地 PU-2 充填部に X-1 (通気緩衝工法)を施工する場合、絶縁テープは不要と思われますが、必要でしょうか。また絶縁テープを増し張する場合はどのようなものをお考えでしょうか。	4 絶縁テープの施工及び仕様については現場協議とします。
5 A-11 仕上表 防水改修 A 5) 伸縮目地 PU-2 充填部に絶縁テープを増し張した場合、施工箇所仕上りが凸部となる可能性がありますのでご了承ください。	5 絶縁テープの施工及び仕様について は現場協議とします。

(2/3)

質 疑 回 智

6 A-21、22 矩計図

屋上笠木汚垂部に水切テープ【新設】 とありますが、参考内訳に記述がありませんが必要でしょうか。またパラペット の防水範囲ですが、外壁出隅から水切テープ迄(あご下端不要)でよろしいでしょうか。

7 A-04_4-4.4 外部塗装下地調整 A-11 外壁改修 参考内訳 19

外壁改修仕上 下地調整 C-2 (軒天は C-1) を見込んでいますが、シーラ塗布が特記、仕上表、参考内訳ともに見込まれておりません。外壁、軒裏とも不要でよろしいでしょうか。

8 A-05.5.18 ガラス 参考内訳 21、22

既存硝子留め材の取替範囲ですが、外部面のみとありますが、参考内訳 21 撤去には両面表記 4944m、参考内訳 22 改修シールには両面施工 9888mとあります。撤去、シール共に両面 9888mでよろしいでしょうか。

- 9 A-09_9.3 参考内訳 22 図面特記にガラスクリーニング(両 面)とありますが、参考内訳 1177 ㎡は片 面数量でしょうか。
- 10 A-05_6.1 内装改修 改修範囲 改修範囲、影響範囲図示とあります が、昇降口などの軒天ボード張替え以外 は該当するものはなしでよろしいでしょ うか。

6 水切りテープは必要で本工事に含みます。防水の施工範囲については外壁 出隅からあご下端も含みます。

7 外壁改修部分については、全面下地 調整 C-2 以外にシーラ塗布も本工事に 含みます。軒天については、C-1 以外 は見込んでいませんのでシーラ塗布に ついては現場協議とします。

8 撤去及びシール共に両面施工とします。

- 9 工事設計内訳書の1,177 ㎡は建具の 内法面積(ガラス面積)となります が、ガラスクリーニングは両面施工で 見込んでいます。
- 10 A-24 に記載のとおり、渡り廊下天 井の張替えがあります。その他につい ては現場協議とします。

(3/3)

答 質 疑 口 11 A-04 4.4-3 既存塗膜の除去 11 A-04 4-4 4 に記載のとおり、サン 既存塗膜の除去 水洗い工法とありま ダー工法で見込んでいます。工法の変 すが、参考内訳 10 高圧洗浄に 30MPa の 更については現場協議とします。 高圧水圧の記載があります。特記仕様書 を優先しての通常水洗い工法でよろしい でしょうか。 12 仕上表に記載のとおり外壁全面下地 12 A-04_4.4-4 下地調整材 外壁改修塗仕上 下地調整 C-2 です 調整 (C-2 程度) とします。 が、既存塗膜劣化部の除去および環境配 慮除去部の下地補修と考えてよろしいで しょうか。 13 A-08 塗装改修 13 塗装の材料は部位により異なりま 特記仕様書の鉄部塗替え表記は SOP で す。仕上表及び各階建具キープランに 記載のとおりです。 すが、参考内訳 23 とは仕様が異なりま す。特記仕様書を正として、鉄部塗替え は全て SOP でしょうか。